

ダイワコーポ

東倉協の野球大会で初優勝

部活動が採用にも効果

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）の軟式野球部（写真）は6月16日に大宮けんぼグラウンドで開催された東京倉庫協会主催の「2019年度野球大会Aリーグ」決勝戦で8対4で勝利し、初優勝を果たした。同社では「社員がより活躍できる企業を目指し、野球部の活動を支援しつつ、新たな部活動の設立など社内制度・福利厚生を強化する。体育会系学生の積極採用を継続し、時流に合わせた採用活動により優秀な人材の確保に努めたい」としている。



同社野球部は、職場の活性化ならびに福利厚生の一環で、社内部活動の第1弾として17年に誕生。

元プロ野球選手の経歴を持つ社員や、学生時

代白球を追いかけた社員を中心に野球部を結成し、昨年度は東倉協野球トーナメントBリーグに出場、優勝した。今年度は野球部出身の新入社員も増え、同Aリーグに挑戦し、創設2年目で初優勝した。

同社では物流の仕事と部活動の親和性が高いと考え、7年前から体育会系学生も積極採用。20年卒学生を対象に実施した3月の会社説明会では、参加人数が前年比約2倍の416人、そのうち300人が体育会に所属する学生。参加学生の約2割にあたる80人が野球部の学生で、「体育会系積極採用や野球部の設立が多くの学生に認知され、大幅な動員につながった」としている。

物流業界と体育会部活動の親和性について「目標に対して自分は何を行うべきか考えて行動する力」「体力面・精神面の強さ」「チームワーク」を挙げ、部活動の参加メンバーからは「異なる営業所の社員と話すきっかけになり、円滑なコミュニケーションに一役買っている」「優勝という目標を目指すことで、社内外問わず注目していただき、その分仕事でも頑張ろうという気持ちになる」という声が聞かれるという。